

企画展「発掘された日本列島2018」開催のお知らせ

平成30年6月2日(土)～7月22日(日)

全国で毎年8,000件近い発掘調査が実施されていますが、一般にはマスコミ報道などにより、その成果の一部を間接的に知っていただくにとどまります。より多くの皆様に発掘調査成果に触れていただくことを目的に、本展覧会では近年発掘された遺跡や成果がまとまった注目の17遺跡 約540点を速報展示します。また、同展に合わせて東京郷土資料陳列館と考古学を紹介する地域展を開催します。

1 会期

平成30年6月2日(土)～7月22日(日)

開館時間: 9時30分～17時30分(土曜日は19時30分まで、7月20日(金)は21時まで開館)

※入館は閉館の30分前まで

企画展開催中の休館日: 7月16日(月)を除く毎週月曜日、7月17日(火)は休館日

2 会場

常設展示室 5F 企画展示室

(地域展: 5F 企画展示室前)

3 観覧料 企画展は常設展観覧料でご覧になれます

一般 600円(480円)／大学・専門学校生 480円(380円)／中高生・65歳以上 300円(240円)

* ()内は20人以上の団体料金。消費税込。

ただし、7月20日(金) 17時からは学生・中高生は無料／一般・65歳以上は団体料金 ※要証明

4 主催等

【主催】文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会

【協力】全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社

【後援】全国史跡整備市町村協議会

地域展

【主催】東京都、東京都江戸東京博物館

5 展示構成および主な資料

発掘された日本列島2018

■新発見考古速報

近年発掘された遺跡や、成果がまとまった注目の17遺跡 約540点を速報展示します。



石槍 もとのき 本ノ木遺跡
(新潟県津南町)
縄文時代



異形台付土器 いけいだいつき
特別史跡 かそり 加曾利貝塚
(千葉県千葉市)
縄文時代



銅鐸 くもずがわ 雲出川下流域遺跡群
(三重県津市・松阪市)
弥生時代



人物埴輪 しんだ 神田・さんぼぎ 三本木古墳群
(群馬県藤岡市)
古墳時代

■特集 装飾古墳を発掘する！

日本には600基以上の装飾古墳が存在します。これらは主に横穴式石室内の石材等に、線刻、浮き彫り、彩色によって、幾何学的文様や器財・動物・人物等の文様を施すもので、古墳時代の死生観や葬送儀礼を知る上で極めて高い価値を有しています。しかし、一方で温湿度等の環境変化によって劣化する危険性もあり、保存対策が必須となっています。

東日本大震災や平成28年熊本地震により装飾古墳が被災した事態をうけて、「発掘された日本列島2018」展では代表的な装飾古墳をとりあげ、装飾古墳の世界とその保護の取組を紹介します。(展示遺跡数:7遺跡)



単鳳環頭大刀 あざみ おおつか 皆見大塚古墳
(福岡県みやこ町)
古墳時代

発掘された日本列島2018 地域展

「東京郷土資料陳列館と考古学」

1934年(昭和9)11月に開園した有栖川宮 記念公園内に、東京市による「東京郷土資料陳列館」(以下、「陳列館」)が同時開館しました。東京における公立歴史博物館のルーツともいえる「陳列館」は年中無休、入場無料で、主に公園利用者と東京市内の小学生が来館しました。

本展では、江戸東京博物館のルーツでもある陳列館を紹介し、当時の調査で収集された考古資料、初代学芸員 かたぐらのぶみつ 片倉 信光 の活動、片倉が収集したと思われる考古学模型標本(土偶、埴輪、須恵器等)などに着目して、当時の東京市における博物館活動と考古資料展示の一端を探ります。

第1部:東京郷土資料陳列館と考古資料

第2部:初代学芸員 片倉信光と考古学模型標本



東京郷土資料陳列館開館時の外観
1934年(昭和9)
(公益財団法人東京都公園協会所蔵)



同館展示室内写真
(公益財団法人東京都公園協会所蔵)



壺型土器
飛鳥山公園遺跡
弥生時代



土佐柏紋軒丸瓦
旧土佐藩邸
(現東京国際フォーラム)

6 関連イベント・その他

「発掘された日本列島2018 新発見考古速報」展示解説

「発掘された日本列島2018」の見どころを紹介します。

(1) 展示解説員(全国埋蔵文化財法人連絡協議会 関東ブロック協議会)による解説

会期中の毎週火曜日・木曜日 ①10時30分～ ②14時30分～(各回40分程度)

【集合場所】常設展示室 5F企画展示室入口 【参加料】無料(常設展示観覧料は別途必要)

(2) 文化庁文化財調査官による解説

会期中の毎週土曜日・日曜日、祝日 ①10時30分～ ②14時30分～(各回40分程度)

【英語通訳付】6月23日(土)、7月7日(土) 14時30分～

【集合場所】常設展示室 5F企画展示室入口 【参加料】無料(常設展示観覧料は別途必要)

地域展「東京郷土資料陳列館と考古学」

(1) ミュージアム・トーク(展示会見どころ解説)

【日時】6月29日、7月6日、7月20日(各金曜日) 16時～(30分程度)

【参加料】無料(常設展観覧料は別途必要)

(2) 対話型ワークショップ「さわろう 話そう 埴輪」

学芸員、ガイドボランティアとともに、視覚に障害がある人となない人が埴輪の触察模型をさわってその形を実感し、対話しながら展示中の埴輪を鑑賞します。その後、古墳時代の埴輪について話し合います。

【日時】7月7日(土) 16時30分～18時 【参加料】無料(常設展観覧料は別途必要)

【対象】一般

【定員】16名

【締切】6月22日(金)

※事前応募制。メールにて受付 詳細については当館ホームページをご確認ください。

(3) ワークショップ「さわってつくろう 僕らの埴輪」

古墳時代の埴輪について、専門家のレクチャーを受け、埴輪の触察模型をさわって形を実感した後、粘土で埴輪を作ります。

【日時】7月8日(日) 14時～16時

【参加料】無料(常設展観覧料は別途必要)

【対象】小学校3年生以上(小学生は保護者同伴)

【定員】16名

【講師】大西雅也氏(公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター 主任調査研究員)

※当日受付 13時30分よりミュージアム・ラボ前にて受付開始

企画展「発掘された日本列島2018」の広報に関するお問い合わせ
東京都江戸東京博物館 管理課 事業推進係 担当:早川、丸山、長屋
〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目4番1号

TEL: 03-3626-9907 FAX: 03-3626-8001 E-mail: kouhou@edo-tokyo-museum.or.jp